

審議結果

審議会等名称：第129回神奈川県総合計画審議会

開催日時：令和元年7月24日（水）16:45～17:50

開催場所：神奈川県庁本庁舎3階 大会議場

出席者：◎清家篤、○斎藤聖美、内田裕久、河野英子、小林隆、清水みゆき、関ふ佐子、池上秀明、上野孝、大崎厚郎、柏木教一、篠原正治、長嶋喜満、丸山善弘、能登ゆか、中崎久雄、いそもと桂太郎、永田磨梨奈、中村武人、西村くにこ、柳瀬吉助
〔計21名〕（順不同）（◎会長、○副会長）

次回開催予定日：未定

問い合わせ先：政策局政策部総合政策課計画グループ 石川（聖）

電話番号045-210-3061（直通） ファックス番号045-210-8819

審議経過（議事録）：（事務局が委員数30名に対し、この時点で20名の出席を確認し、半数を超えるため審議会が成立する旨を発言）

1 開会

- 清家会長：ただいまから、第129回神奈川県総合計画審議会を開会いたします。
議事に入ります前に、本日、傍聴人が1名いらっしゃいます。当審議会は原則公開ですので、ここで入場していただきます。
また、審議会委員に新たに任命された委員のご紹介をさせていただきます。

（委員の紹介）

2 議事

議題 「かながわランドデザイン 第3期実施計画」の策定について

- 清家会長：本日の議題は「かながわランドデザイン 第3期実施計画」の策定についてです。
「かながわランドデザイン 第3期実施計画（案）」につきましては、これまで委員の皆様方には、当審議会において非常に熱心にご議論をいただきました。実施計画のとりまとめにつきましては、前回の審議会において私にご一任いただきましたので、皆様方のご意見の反映状況等を事務局からご報告していただいた後、最終的にご了承をいただきたいと考えています。その後、皆様方に既にご説明をしたうえで各委員のご意見を盛り込んだ審議会としての知事への答申案について、最終的にご承いただきたいと思っております。この答申案が最終的にとりまとまりましたら、お時間の許す限り、皆様方から一言ずつ感想をいただければと思います。そのような時間を最後に設けまして、その後で、知事へ答申書を手交したいと思っております。
それでは、まず実施計画案について、事務局から修正点等についてのご説明をお願いします。

（事務局から資料について説明）

- 清家会長：ありがとうございました。ただいま説明がありましたように、実施計画案につきましては、皆様方からいただきましたご意見を最大限反映いたしまして、事務局と調整の上、修正させていただきましたが、こちらでよろしいでしょうか。

（意見なし）

- 清家会長：それでは、当審議会におきましては、「かながわランドデザイン 第3期実施計画

(案)」について、これを了承するというのとさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

- **清家会長**：ありがとうございます。それでは、そのように決しました。
続きまして、ただいま了承いただきました実施計画に関する当審議会の答申案について、ご審議をお願いしたいと思います。ご案内のとおり、この答申案につきましても、既に委員の皆様方からご意見をいただき、それを反映した案となっておりますが、事務局から説明をお願いします。

(事務局から答申案について説明)

- **清家会長**：ありがとうございました。事前に委員の皆様にご意見を伺い、その意見を最大限反映していただいた答申案となっているかと思いますが、こちらの案でよろしいでしょうか。ご意見ございますでしょうか。

(意見なし)

- **清家会長**：それでは、当審議会といたしましては、答申案についてはこれを了承ということとさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

- **清家会長**：ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。
それでは本日の審議事項は以上でございますが、委員の皆様方がお揃いですし、今回答申に至りましたので、これまでも様々にご意見をいただいておりますが、改めてご感想などをいただきたいと思います。また今回初めてご出席の委員もいらっしゃいますが、可能であれば計画あるいは答申についてご感想などをいただくことができればと思います。それでは恐縮ですが私から順に指名をさせていただきますので、一言ご感想をいただければと思います。まず柏木委員よろしくをお願いします。

- **柏木委員**：柏木でございます。まずはこの長丁場で新しい計画、グランドデザインを作成いただきました事務局の皆様大変ご苦勞様でした。立派な計画ができ上がったと感じておりますし、この計画に関わったということにつきましてもありがたく思っております。とりわけ計画を立てると私自身もそうですが、ちょっと安心してしまふところがあって、あとは計画に基づいてやっていけばよいかという思いが常に起こってしまうものですが、逆にこの4ページにも書かれておりますとおり、様々な変化が生じているという時代背景を考えると、これから2022年までの計画であれば、その間の状況変化も大きいだろうと思っています。先ほど議会の方から通学時の安全確保ということで指摘が入ったというお話がありました。この長いスパンの中で言えば、大きな社会的変化もあるのだろうと思っています。計画を仕上げていくこと自体は大切だと思いますが、一方で時々評価に応じてフレキシブルに見直しをかけていけるような余裕も必要ではないかと思っていますので、その辺りについて、またしかるべき検討の中で評価をされるごとに、少し幅広に対応できるような体制をぜひ構築していただきますようお願いしたいと思います。雑駁な感想ですが以上でございます。

- **清家会長**：ありがとうございました。大崎委員よろしくをお願いします。

- **大崎委員**：大崎でございます。私は青年会議所から参加をさせていただいておりますが、今年度私ども

青年会議所でもSDGsの推進を一丁目一番地として活動しております。その中でも私ども神奈川県ブロック協議会では神奈川の地で活動しているわけでありますので、SDGsを軸にまたこの神奈川県で取り組まれる政策を、私どもの立場からも推進していけるように全地域で推し進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

○ 清家会長：ありがとうございました。上野委員よろしく申し上げます。

○ 上野委員：地域経済の振興を担う商工会議所として2点ほど申し上げたいと思います。1点目ですが、プロジェクトの柱Ⅱの経済のエンジンの取組みとして、「企業経営の未病改善」ということが掲げられています。私ども商工会議所としまして、既に経営相談や各種会合の機会を捉え、県でお作りいただいた「未病CHECKシート」の普及啓発に努めております。CHECKシートに記入していただくことで、経営の振り返りを進めているところです。今回の計画におきましても、「企業経営の未病が改善した企業の割合」を指標として取り組んでいただけるということですが、商工会議所としても目標達成に貢献できるように、このことを積極的に進めていきたいと考えているところでございます。また、2点目ですが、私は県の観光魅力創造協議会の会長を仰せつかっております。これまでも県内の周遊モデルルート1000本を目標に開発を進めてまいりましたが、先頃この目標を達成することができました。このようなことを中心に、官民挙げての取組みの効果を実感しています。今回のプロジェクトにおきましても、観光に関して「延べ宿泊者数」や「観光消費額総額」といった意欲的な指標が掲げられておりますけれども、今後とも観光魅力創造協議会でも検討を深め、県内各層の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。以上でございます。ありがとうございました。

○ 清家会長：ありがとうございました。池上委員よろしく申し上げます。

○ 池上委員：初めて出席させていただきました。オーソドックスな考えで、SDGsを基盤にしてやれば、大きな誤りは多分ないであろうという安心感は非常にあります。明後日7月26日はやまゆり園の事件が起きた日です。ちょうど3年が経ってしまいました。それと、奇しくも2、3か月前ですが、カリタス事件がありました。あれも神奈川県内、川崎で起きました。そのようなことが全国で目立つようになってきている中で、何日か前ですが、京都アニメーションの事件がありました。自殺については、神奈川県は全国的に人口対比率で少ないのです。神奈川、東京、大阪、京都などは少ない。もちろん実数、絶対数は多いです。ところが神奈川の場合、30歳代、働き盛りの方の自殺数だけを見ると全国10位くらいです。また、先日、厚生労働省が発表しましたが、自殺の数自体は減っているのに、若い人の自殺はむしろ右肩上がりで増えている。非常に矛盾した状況があります。児童虐待も増えている。交通事故、殺人、傷害といった数字は21世紀になってから減っている。ところが、児童虐待だけは、ここ数年間ですごい増え方をしている。神奈川県も例外ではありません。そういったことを未然に防ぐことをもっと強く意識した計画が、総合計画では難しいかもしれないですけども、あってもいいのかなと思います。

またもう一つ、地域について。地域というのがキーワードになっていますけれども、問題意識によって地域の広さは全然違います。都道府県を一つの地域として考える場合と、医療で言えば二次医療圏を地域として考える場合。それから、地域包括ケアシステムですと、一つの中学校区を地域としてとらえている。地域と言っても全然違う。そのようなことを考えると、都道府県でいろいろな議論をすることは絶対に必要なことですし、最近では国が都道府県に投げてしまうことがあります。それは都道府県でやることに意味があるということだと思います。ただ、これを神奈川県内の市町村にどうぶつけるのか。市町村からどう返ってくるのか。相互連携がないと、なかなか将来につながっていかない気がします。これから議論を重ねていかれることと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

○ 清家会長：ありがとうございました。関委員よろしく申し上げます。

○ **関委員**：まずは短期間に立派なグランドデザインを、我々委員の意見も聞いて策定して下さった神奈川県の皆様、働き方改革に反して仕事をしていないか心配ではございますが、御礼申し上げたいと思います。答申にも書かれていますが、しっかりと評価をしていくということで評価の指標等を設けたことは非常に良かったと思います。指標やKPIについては、審議会でもいろいろな議論がなされました。その議論が反映しきれていない部分も少しあるかと思いますが、検討に当たって神奈川県としても盛り込めなかったいろいろな思いもありますと思いますので、実際に政策を実行していくにあたって、これから現実的な目標を立てて、それを達成していくということがしっかり行われていくような機会にこのグランドデザインがなればと思います。私自身、神奈川県で働いて、神奈川県に住んでいる住民です。計画にいろいろと素晴らしいことが書かれていますが、それが絵に描いた餅にならないように、良いグランドデザインができた、神奈川県に住んでいてよかったと、県民が実感できるフィードバックがこれからはなされることを期待しています。ありがとうございました。

○ **清家会長**：ありがとうございました。清水委員よろしくお願ひします。

○ **清水委員**：1点だけです。インターネットではなくて、でき上がった冊子を読まれる方はしっかりこの計画を読まれると思うのですが、略語や非常に読みづらい文字サイズのものもあるので、現在配布されている用紙だと文字が擦れて読みづらいということもあるのかもしれませんが、表現や見やすさということも考えていただければと思います。

○ **清家会長**：ありがとうございました。小林委員よろしくお願ひします。

○ **小林委員**：東海大学の小林でございます。本当にとりまとめお疲れさまでした。大変よくできた計画になったと思います。他の委員の方々からもお話がありましたが、これから実現していくことがとても大事だと思います。大学がどのように連携していくかということで、今日の答申でも2(4)に「横断的な対応と連携の推進」ということで、大学も連携の中に含まれています。実は昨年度から東京都で研究者提案という制度ができています。1年目は東京都の皆さんと我々研究者が調査期間ということで調査費をいただいて、総合計画に沿った内容を実現するための提案をさせていただいて、我々の事業としてではなく、東京都の事業として実行していくということが展開されています。ぜひ神奈川県においても、本日大学の先生方もいらっしゃいますが、皆様の知恵を、このような場だけでなく、実際の事業の実現のためにも活用していただきたいと思います。本学では健康学部ができて、健康プロジェクトも動き始めました。本年度は皆様のご努力で予算をつけていただいて一緒に事業が出来るようになりましたが、昨年度は我々だけが先行して動くということになりました。そのようなことが結構起りますので、ぜひとも、地域の大学と県と一緒に事業ができて、総合計画の目標を達成できるというような構造ができればと思います。以上でございます。

○ **清家会長**：ありがとうございました。河野委員よろしくお願ひします。

○ **河野委員**：河野でございます。とても丁寧に計画をまとめていただきまして、ありがとうございました。今回、参加させていただき、改めてたくさんのことを勉強させていただきました。これからの時代、地域というものがある社会的課題を解決していく上で重要な役割を果たしていくということを改めて認識しました。神奈川の大学で働きながら、どのようなことができるのかということを考えていく中で、今、参加しているまちづくりのビジネスプランコンテストで神奈川のある地域に関わりのあるプランの検討を進めています。国立大学の経営学部は東日本では本学にしかないため、当方のゼミの7、8割の学生は地方出身なのですが、プランの検討という課題を通じて神奈川県は社会関係資本が豊かであるということを改めて実感しています。県のなかにある多様な主体の1つである大学の大学人として、何らかの役割を果たしながら教育や活動をして参りたいと考えております。ありがとうございました。

○ 清家会長：ありがとうございました。内田委員よろしく申し上げます。

○ 内田委員：ケイエスピーの内田でございます。私は、40年程、エネルギーと社会、科学技術と社会という分野で仕事をしてまいりました。その関係で、必然的に多様性のある人間環境、それと科学技術はどうあるべきかということで、80年代と90年代はエコテクノロジーということはずっと我々は学会等で言ってきました。国連からSDGsというものが出てきたことは嬉しく思います。SDGsが出てきたときは、当然のことながら「わかりにくい」という反響がありましたが、これは物差しであり、この答申にも書いてあるとおり、一つの座標軸です。これだけ見て何かあるものではありません。自分の行動にどう取り入れて、どう周りを見るか。一つの基準です。そういうことをまずはしっかりと認識していただけたということは素晴らしいと思いますし、これが神奈川県の中で政策に取り入れられて、こうやって実際に使われてきています。たぶん、国内だけでなく世界でも初めてでないかと思います。ぜひ、この先も進めていただければ素晴らしいと思います。

○ 清家会長：ありがとうございました。篠原委員よろしく申し上げます。

○ 篠原委員：福祉関係の充実ということで、皆さんもご承知のとおり、施策が非常に素晴らしいものであると同時に、我々が非常に困惑しているのは、福祉人材の確保が非常に厳しい状態です。やはりその辺が、しっかりとした政策の中で遂行できるかという非常に厳しい状態です。この辺については、皆さんと一緒に連携を取るということと同時に、やはり福祉の理解度というものをしっかりとあげていく。特に障がいについては、神奈川県で「ともに生きる」という「かながわ憲章」を作っていますが、この辺もまだまだ認知度が非常に低いということがありますので、しっかりと発信することによって、福祉の向上に努めていくということが私たちの目的ですので、そのように進めていければと思っています。

○ 清家会長：ありがとうございます。丸山委員よろしく申し上げます。

○ 丸山委員：丸山です。神奈川県で言うと、どちらかというと地方という感じのところに住んでおります。いろいろな意味で神奈川県弱さというのを実際に体験している中であります。そんなふうにして考えたときに、計画には大変素晴らしい言葉がちりばめられていて、それはそれで本当に良いと思います。先ほど説明の中で、スローガン倒れにならないよという話がありました。そういうふうにしてもらいたいと思います。例えば「ともに生きる」とか「誰一人取り残さない」ということ、それから「笑いあふれる100歳時代」をどう作るのかということ、私たちとしては他人ごとではなくて皆で結果を出す、いろいろな立場、個人を含めて、県民も含めて、どのようにして結果を出すのかということが問われているのではないかと思います。そのときに、一つだけあえて言えば、弱者へのまなざしということについて、忘れないでいただきたいと思います。この計画書は事務局の皆様にご一生懸命作っていただいたもので、これについて異論はございません。今後作っていくときに、例えば私はこんなふうになります。資料1の48ページに、柱のIV「ひとのチカラ」のプロジェクト16「スポーツ」があります。大体人間はどこを見るのかという、目の前に紙があると一番見るのは左上です。写真を使っているととても良いと思います。恐らく写真と左上の大きな文字を中心にしてプロジェクトのイメージをするかと思っています。そうしたときに、「誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる社会の実現」と考えたときに、一方で弱者へのまなざしということを含めて見たときに、この写真でよいのか。それから「成人の週1回以上のスポーツ実施率」というのは、「成人」というふうにしてまとめてしまってもよいのかということについては、今後物事を考えていく際に、ぜひ深めていただければと思います。全体については特に異論はございません。私たちも消費者団体として、その中に生協も入っていますが、一緒になって推進していく立場で「ありがとうございました」ということを言わせていただきたいと思っています。

○ **清家会長**：ありがとうございます。能登委員よろしく申し上げます。

○ **能登委員**：公募委員として、この度は参加させていただきました。皆様には大変お世話になりまして、ありがとうございました。私は普段、司法書士の仕事を通して、超高齢社会の問題であるとか、外国人の問題であるとか、空き家や所有者不明土地の問題などに関心がありまして、参加させていただきました。大変、審議会で勉強させていただき、また、たくさんの資料を読んで神奈川通にもなりました。自分なりにいろいろなことを考えて、神奈川が今まで以上に好きになりました。私だけではなく住んでいる皆様が、もっと神奈川通になれば良いと思いますし、もっと神奈川を好きになってもらいたいと思っています。これから笑いあふれる元気な100歳時代を皆様が過ごしていけると本当に良いなと思っております。皆様には大変お世話になりまして、どうもありがとうございました。

○ **清家会長**：ありがとうございます。中崎委員よろしく申し上げます。

○ **中崎委員**：初めまして、大磯町の町長であります。総合計画は委員の皆様の大きな力で、2期目、3期目と進んでこられて素晴らしいと思います。大磯町も3万人強の町でございますが、総合計画は第5次というものを今、作っております。その見直しを考えていきますときに、県は1千万人口でありまして、計画は大きな百科事典ということですが、その中で災害、人口問題、高齢化などのいろいろな要素を抑えていかなければならない非常に大きな仕事と考えています。県民一人ひとりの想いを積み上げていくことが大切であり、これからも頑張っていたきたいと思っております。神奈川県を構成している大磯町としてもしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

○ **清家会長**：ありがとうございました。いそもと委員よろしく申し上げます。

○ **いそもと委員**：県議会議員のいそもとです。審議会の皆様には、お忙しい中、議論を重ねていただいて、総合計画を作っていただきましたことを感謝申し上げます。答申を見ますと、計画の着実な遂行という部分に「キャッチフレーズだけが先行することのないように」との文言がありますが、これは、議会でも同様に感じているところです。「コミュニティの再生・活性化による笑いあふれる100歳時代」の実現に向けて、県民がその成果を実感できるようにということがとても大事だと思います。「成果にこだわってください」ということを承ったということで、議会としてもしっかりと議論し、その中で意見や要望をしっかりと伝えていきたいと思っております。その一つとして、先の議会の中で「かながわブランドデザイン調査特別委員会」を立ち上げました。この調査特別委員会では、皆様に作っていただいた計画について、もう一度しっかりと検証をしていく。また、これまでの政策の中でヘルスケア・ニューフロンティアや未病など、多くの予算をつけた部分も含めてしっかりと検証をして、良いものを作っていきたいと思っております。皆様が神奈川県のために頑張っていたことを無駄にしないよう、議会としても頑張っていきたいと思っております。よろしく申し上げます。ありがとうございます。

○ **清家会長**：ありがとうございました。永田委員よろしく申し上げます。

○ **永田委員**：県議会議員の永田磨梨奈でございます。まず、私からも、長時間、長期間にわたり計画についてご審議いただいた委員の皆様には御礼を申し上げます。また、事務局の皆様にはとりまとめ、お疲れさまでした。私は、今回の改選で初めての参加となりましたが、これまでも縷々意見を聞いているなかで、今の時代は、変化に変化を続けていると感じています。今回の計画では、SDGsという新しい座標軸、価値観が加わったと感じています。その中で、審議会の委員の方からもご指摘がありましたが、一つの方向から見ただけでは成果や結果を評価ができない時代になってきているのだと思います。議会でもチェックをして、計画の推進を見守る立場としては、1つの方向からだけでなく様々な方向から評価をしていくこ

とを心掛けながら、政策の実行を見守りたいと思います。今回は、いろいろと勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

○ **清家会長**：ありがとうございました。中村委員よろしく申し上げます。

○ **中村委員**：県議会議員の中村武人です。事務局の皆様お疲れさまでした。いそもと委員からもお話がありましたとおり、県議会でグランドデザイン調査特別委員会が立ち上がりましたが、私もそこに所属しています。県議会でも、この計画について議論をすることは、4年後の神奈川県について議論することとイコールだと重く受け止めており、引き続き、厳しい議論をしていかなければと考えています。柏木委員からもお話がありましたが、やはり、計画は作って終わりではなく活用をする必要があります。例えば、KPIと指標については関係性や因果関係についてしっかり検証して欲しいと、特別委員会や総計審でも申し上げてきました。KPIが上がっているのに指標の数値が上がっていないということは、何かが足りない。そのときに、数値目標の設定が甘かったのか、全く違う分野に関しても施策を進めていく必要があるのかなど、議論をすることに意味があると思っています。様々な議会の場を通じて、より良いものをめざし、神奈川県に住んで良かったと思えるようになるよう、議論を重ねていきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。

○ **清家会長**：ありがとうございました。西村委員よろしく申し上げます。

○ **西村委員**：大変にご尽力をいただき、ありがとうございました。私は、今年度から参加させていただきましたので、ここまで骨組みを考えていただきましたご尽力に心から敬意を表します。ありがとうございました。今回はSDGsという大きなキーワードが掲げられました。キーワードという少し語弊があるかもしれませんが、皆様方にご審議をいただき、また各界を代表されてご出席いただいておりますので、今後この審議だけではなく、ご協力いただきたい部分が多々出てくると思います。例えば経済界で言いますとSDGs制度融資というものが、今後神奈川県でスタートします。また、県民の皆様がこれはSDGsに資する行動だと知ったうえで参加をしていただいてポイントを貯めていただくというポイント制度もスタートします。それぞれの分野でこれをやったらいいのではないか、こういう企業のこういう取り組みをつないでみたらいいのではないか、そういったお知恵をぜひ頂戴しまして、実効性のあるものとしていくのは、私たち議会だけではなく、本日ご出席いただいた皆様のご協力と県民の力だと思いますので、どうぞよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

○ **清家会長**：ありがとうございました。柳瀬委員よろしく申し上げます。

○ **柳瀬委員**：皆様お疲れさまでした。県議会議員の柳瀬でございます。この短期間でこれだけのものをまとめていただきましてありがとうございます。特にグランドデザインのプロジェクトの方向性というものは、様々な課題を抱える神奈川県というものにはかなり適合した良くてきたものになっていると思います。またそれらを確実に遂行していこうということで、指標やKPIを設けて、きちんとやっていこうという意気込みを感じたところでございます。一方で短期間にここまで仕上げてきたということで、多くの委員からも意見があったかと思いますが、指標やKPIは正直まだ不完全なところがあると思います。これからプロジェクトを推進されていく上では、KPIを見ていかれると思いますので、まだ不完全なこともございますし、やはりプロジェクトのゴールを常に見失うことなく、全体として取り組んでいただきたいと思っています。すなわち、KPIというのは手段でありますから、手段が目的とならないよう本来の目的をしっかりとらまえて、この計画を推進していただくことを願っております。また、県議会もそうですし、皆様もそのあたりを今後も見守っていただきたいと思っていますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

○ **清家会長**：ありがとうございました。長嶋委員よろしく申し上げます。

○ **長嶋委員**：長嶋でございます。私は農業協同組合からの団体推薦ということで委員に就任させていただきましたが、私は1次産業全体を通じた感覚で本日も出席させていただきました。ただいま皆様からも指摘がありましたけれども、高齢化の波が押し寄せてきていて、人口が増加している地域もありますが、減少している地域の方が多いという時代となっています。そして社会生活、県民生活もだいぶ変化している、先が見えない時代となっています。今年は統一地方選挙や参議院選挙がありましたけれども、投票率を見ると関心のない人が増加しているように思います。本日この「かながわグランドデザイン」を読ませていただいて、皆様からのご意見を拝聴していると、なるほどと改めて認識したものが多々ございます。ただ、こういった考え方、施策がどこまで県民の皆様方に伝わっていくのかと不安を感じております。不安と言いますか、もっと知ってもらうための努力が必要なのではないかと思っております。これだけのものを全て認識していただくということは難しいと思っておりますが、自分の生活に関わる1つでも良いので、何か認識してもらうような手立てがあれば、なお素晴らしいと感じたところでございます。それにはやはり県民のニーズを吸い上げて、それをいかに施策に反映していくのかということが重要であり、我々に求められていることなのかなと思っております。私といたしましても、少しでも多くの皆様方に神奈川県のお考えですとか、生活に対するとおっしゃいますか様々なことに対する施策あるいは指標といったものも、一人でも多くの人に知っていただけるような活動を続けてまいりたいと感じたところでございます。ぜひ、そういった意味で、より一層、多くの人に認識していただけるような方法も検討していただければ、なお結構であると思っております。素晴らしいグランドデザインだと思っております。皆様大変ご苦勞様でございました。ありがとうございました。

○ **清家会長**：ありがとうございました。最後に斎藤副会長よろしく申し上げます。

○ **斎藤副会長**：斎藤でございます。私は証券会社を経営しておりますので、どうしてもビジネスの観点から物事を見がちです。ビジネスですと選択と集中をいたします。プライオリティをつけて、何にリソースを集中させて成功させるかということをしてしておりますが、県がすることは全く逆で、選択をすることはできない、すべての県民のために、すべてのことをしなければいけない。それでいながら成功させなければいけないという、大変難しい課題を背負って日々県政にご努力いただいているわけです。今回、これをまとめて、ここにいらっしゃる皆様が、いろいろなバックグラウンドをお持ちなので、いろいろな観点からもんでいただいて、素晴らしいものになり、これがバイブルになったと思っております。ただ、このバイブルが普通の聖書と違うのは、毎年変わってくる、環境が変わるとともに変わっていく。ここに書いてあるからということにこだわらずに、どんどんと発展させて、また素晴らしい神奈川県をつくっていただきたいと思っております。そして、いつも非常によくまとめていただきました清家会長ありがとうございました。

○ **清家会長**：ありがとうございました。最後に私からも一言だけ申し上げたいと思っております。皆様方には本当に熱心にご議論いただきましてありがとうございました。お陰様で私から見ましても、非常に充実した計画書になったと思っております。今日皆様からいただいたご意見を改めて伺いまして、一つは、例えば高齢化のように確実に長期的にやってくる課題があり、それについては健康あるいは福祉を充実していくという施策を着実に進めていかなければいけないと思っております。しかし同時に、最近いくつか出てきているような地域における生活を不安に陥れるような事案といったような新しい問題に対しては、安全を確保し、安心して生活ができるような環境を早急に整備するといったような、柔軟でフットワークの良い対応も求められているのだと思っております。委員の先生方からいろんな意見をいただきました。計画書が単に読まれるだけでなく、実際の施策に活かしていただけるよう、私からの願いでございます。

それでは、最後になりましたけれども高澤政策局長からご挨拶をいただきたいと思っております。

○ **高澤政策局長**：どうもありがとうございました。本日、「かながわグランドデザイン 第3期実施計画」のご了承をいただくとともに、答申についておまとめいただきました。この4月に、知事から清家会長に

諮問をさせていただきまして、その間大変熱心にご審議をいただきました。多大なご協力を賜りましたことを、改めて御礼申し上げます。答申をいただくことで、私どもとしては、ようやくスタートラインに立たせていただけたという感じがしています。ただいまの委員の皆様方のお話を伺っておりますが、やはり計画ができたからといって安心するのではなく、先行きが不透明なこの時代、激動の時代において、計画に縛られることないと言うと語弊があるかもしれませんが、柔軟にそのときの状況に応じて対応していきなさいと、そのようなお話をいただいたと思います。また、その成果は、県民の方がきちっと享受できるよう、実感できるようにしなさい、そのようなお話もいただきました。心に刻みまして、これから施策を実行してまいりたいと考えております。既に県の中では、これまでの積み重ねの上に、どういった取組みをしていくのかということで、取組みベースで議論を積み重ねさせていただいております。そうした中で、本日まで皆様からいただいたご意見については、取組みベースで反映をさせていただき、一つの施策の中で成果にこだわって結果を出していきたいと考えております。今回、4年後の絵姿を描かせていただきました。これについては、キャッチフレーズというような形ではなく、我々はビジョンと捉えております。4年後に一つ一つの取組みの成果として、そのビジョンが果たして県民の方々に実現したと言ってもらえるのかどうか、そういったところをきちっと積み重ねていきたいと考えております。また、委員の皆様方には、この秋口から、どのような形でこれを評価していくのかということについても、ご議論いただきたいと思います。そうした中で、計画を柔軟なかたちで検証し、見直し、さらに良いものに計画し、取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひします。どうもありがとうございました。

- **清家会長**：ありがとうございました。それでは事務局から事務連絡をお願いします。

(事務局から答申手交式について説明)

- **清家会長**：ありがとうございました。以上をもちまして、本日の審議会を閉会いたします。4月に諮問を受けて以来、皆様方には大変熱心にご審議いただき、ありがとうございました。
-